

聖徳で学ぶ

社会福祉・精神保健福祉コースの メリットとは？



社会福祉学科 豊田宗裕

社会福祉士とは？社会福祉士・介護福祉士法(1987年制定)

社会福祉士の名称を用いて、(中略)福祉に関する相談に応じ、助言、指導、福祉サービスを提供する者、又は医師その他の保健医療サービスを提供する者その他の関係者との連絡及び調整その他の援助を行うことを業とする者を言う

精神保健福祉士とは？精神保健福祉士法(1997年制定)

精神保健福祉士の名称を用いて、精神障害者の社会復帰に関する相談、助言、指導、日常生活への適応のために必要な訓練その他の援助を行うことを業とする者を言う

⇒「精神障害者」への相談援助を業とする

社会福祉士はどんな仕事をするのか？

- 中心になるのは「相談業務」。困りごとを抱えた人の相談にのり、解決の道を探すこと
- 関係機関との連絡調整や連携協働も重要な仕事。福祉分野だけでなく、医療・保健、住宅、司法・警察、教育など、様々な分野と連携して問題解決に取り組む
- 安心して安全な「街づくり」のための環境基盤の整備

社会福祉士が働く具体的な職場は？

<就職先として:例示すると…>

- 高齢者・障害者福祉施設の相談員として(例えば、特養の生活相談員や障害者施設の相談支援員など)
- 病院や診療所相談室の相談員として(代表的なのは「医療ソーシャルワーカー」)
- 社会福祉協議会や地域包括支援センター(社会福祉士でないといけない業務)
- 児童相談所や福祉事務所などのソーシャルワーカー(公務員として福祉の相談業務や調査などを担当)
- 教育機関のソーシャルワーカー(スクールソーシャルワーカーなど)

精神保健福祉士はどんな仕事をするのか？

- 精神障害者に対する「相談業務」を実施する。病院や社会復帰施設において、困りごとの相談にのり、解決の道を探す
- 関係機関との連絡調整や連携協働も重要な仕事
- 社会復帰を目指して、リハビリテーションや就労の支援を行う

精神保健福祉士が働く具体的な職場は？

<就職先として:例示すると・・・>

- 医療機関の相談員として(例えば、精神科病院、総合病院の精神科、診療所、訪問看護ステーションなど)
- 障害者福祉分野の施設(就労移行支援施設やグループホーム、相談支援事業所など)
- 公務員としてのソーシャルワーカー(自治体の相談窓口、保健所や精神保健福祉センターのソーシャルワーカー)
- 司法関係の専門職として(保護観察所や刑務所、更生保護施設など)
- 教育機関のソーシャルワーカー(スクールソーシャルワーカーなど)

資格の取得にあたってどのようなことを学ぶのか？

(2021年度より。以降、社会福祉士の場合を例示。精神もほぼ同様)

2021年度より、新たな教育内容により資格取得が開始(通信課程も同様)

教材による教科科目
(19科目を履修)
●(次スライドに示すように)
「医学概論」をはじめとする19科目すべての科目を履修する
●通信課程の場合、印刷教材に基づく学習(レポート提出と科目終了試験。事務局説明)

+

実習系教育
「演習」「実習指導」
(72時間)
「現場実習」
(240時間)

具体的な教育内容の全体(社会福祉士) *厚労省資料抜粋

社会福祉士養成科目【既述した後】	通学課程	通信課程					
		一般養成		短期養成			
		面接授業	印刷教材	実習	面接授業	印刷教材	実習
①医学概論	30		90				
②心理学と心理的支援	30		90				
③社会学と社会システム	30		90				
④社会福祉の原理と政策	60		180			180	
⑤社会福祉調査の基礎	30		90				
⑥ソーシャルワークの基礎と専門職	30		90				
⑦ソーシャルワークの理論と方法(専門)	30		90				
⑧ソーシャルワークの理論と方法(専門)	60		180			180	
⑨地域福祉と包括的支援体制	60		180			180	
⑩福祉サービスの組織と経営	30		90				
⑪社会保険	60		180				
⑫高齢者福祉	30		90				
⑬障害者福祉	30		90				
⑭児童・家庭福祉	30		90				
⑮貧困に対する支援	30		90				
⑯保健医療と福祉	30		90				
⑰権利擁護を支える法制度	30		90				
⑱刑事司法と福祉	30		90				
⑳ソーシャルワーク演習	30	45	81		45	81	
㉑ソーシャルワーク演習(専門)	120		324			324	
㉒ソーシャルワーク実習指導	90	27	243		27	243	
㉓ソーシャルワーク実習	240			240			240
合計	1,200	72	2,808	240	72	1,368	240

具体的な教育内容の全体②(精神保健福祉士) *厚労省資料抜粋

【既述した後】 精神保健福祉士養成科目	通学課程	通信課程					
		一般養成		短期養成			
		面接授業	印刷教材	実習	面接授業	印刷教材	実習
①医学概論	30		90				
②心理学と心理的支援	30		90				
③社会学と社会システム	30		90				
④社会福祉の原理と政策	60		180			180	
⑤地域福祉と包括的支援体制	60		180			180	
⑥社会保険	60		180				
⑦障害者福祉	30		90				
⑧権利擁護を支える法制度	30		90				
⑨刑事司法と福祉	30		90				
⑩社会福祉調査の基礎	30		90				
⑪精神医学と精神医療	60	6	162		6	162	
⑫現代的精神保健の課題と支援	60	6	162		6	162	
⑬ソーシャルワークの基礎と専門職	30	3	81		3	81	
⑭精神保健福祉の原理	60	6	162		6	162	
⑮ソーシャルワークの理論と方法	60	6	162		6	162	
⑯ソーシャルワークの理論と方法(専門)	60	6	162		6	162	
⑰精神障害リハビリテーション論	30	3	81		3	81	
⑱精神保健福祉制度論	30	3	81		3	81	
⑲ソーシャルワーク演習	30	3	81		3	81	
⑳ソーシャルワーク演習(専門)	90	9	243		9	243	
㉑ソーシャルワーク実習指導	90	9	243		9	243	
㉒ソーシャルワーク実習	210			210			210
合計	1,200	60	2,790	210	54	1,458	210

(社会福祉士) 本学の現場実習の流れ(事務局資料に加筆)

指定科目の修得
実習施設の確保

事前指導

実習

事後指導

単位修得

- *現場での実習が必要
- *実習だけでなく、その前後に指導時間を用意(対面基本)
- *すべて自己開拓(実習先を本人が決める)
⇒自宅の近くで実習可能!
⇒自分が学びたい分野の実習施設を、自身が決定

社会福祉コースの就職先は？

卒業後は、様々なところで活躍しています！

例えば

- 福祉施設や病院等の実践現場
- 行政機関(福祉事務所や児童相談所)や社会福祉協議会
- 病院の医療ソーシャルワーカー
- 福祉事業を行う一般企業や事業所など

★もちろん、現在の職場でのキャリアステップとして資格取得者も多数!

聖徳で学ぶメリット;その①

実習先を、指導を通じて自身で選ぶことができる

★本学社会福祉コースでは、自身が学習したいと考える分野を中心に、自身で実習先を選ぶことが可能。学びたいと思う分野の機関・施設を自身が決め選ぶことで、**自身の生活パターン(例えば仕事の休暇や生活時間との兼ね合い)**に併せて実習が可能！

(社会福祉コースは)実習施設を選ぶことができる!

高齢者分野	・特別養護老人ホーム ・地域包括支援センター など
障害児・者分野	・障害児・者支援施設 ・障害者相談支援事業所 など
児童・家庭分野	・児童養護施設 ・母子生活支援施設 など
医療福祉分野	・病院(デイケア/ソーシャルケア) など
行政・地域福祉分野	・社会福祉協議会 ・福祉事務所、児童相談所 など
その他	・生活保護施設(教護施設) ・独立型社会福祉士事務所 など

しかも実践をよく知る教員が担当のため、内容も把握!

聖徳で学ぶメリット;その②

国家試験対策では、これまでの経験を持つ学科教員が直接担当する

★通常の教材授業を担当している教員が対策講座も担当するため、質問などがしやすい
★長年にわたって講座を担当している教員なので、傾向やポイントなどを踏まえた対策講座を提供できる ⇒合格率の向上

様々な場面で培った、国試対策のノウハウを持つ 学科教員が指導

国家試験科目の範囲は多岐にわたるが、経験豊かな学科教員が担当する!

先生たちとは授業で接している
ので、質問しやすいし話しやすい!

オンデマンド方式なので、自分のペースに合わせて勉強できる!

聖徳で学ぶメリット;その③

多岐にわたった就職支援が受けられる

★本学は通学部の学生と同様に、キャリア支援課(就職指導)による就職指導が受けられる。長年卒業生を輩出しているため、多方面にわたって活躍するチャンス!
★年齢層も多岐にわたるため、起業をしたりフルタイムの就労にはこだわらない働き方のノウハウも紹介できる!

社会福祉コースの就職先は、多岐にわたる

- 老人や障害者の福祉施設
- 行政機関や社会福祉協議会
- 児童デイサービスや就労支援型の作業所
- 福祉サービスを提供する企業や団体

例えば、こんな卒業生の方もいます(本学ホームページより)

同じ志を持つ仲間と共に立ち上げたNPO法人で地域支援を中心とした社会活動を続けていきたいです。

同法団士として成長機会業務に携わらる中で、制度だけでは足りない部分の支援を定めるには、福祉の現場に法律的な知識をより取り入れていくことの必要性を実感。福祉の専門知識を修得するため、聖徳大学に入学しました。聖徳大学での学び、同じ志を持つ仲間との出会い、「地域貢献」のための地域支援活動という新たな価値につながりました。聖徳の就職や卒業生を中心としたNPOの法人は、卒業生には社会福祉系に人気が高まり、福祉の幅広い社会貢献的な活動へと発展させる計画です。同法団士業務と兼立しながら、「地域に根ざした日本型ソーシャルワーク」としてをテーマに活動していきたいです。

卒業生インタビュー
岩佐 博行 さん
(卒業生)

聖徳で学ぶメリット;その④

幅広い世代の中で学ぶことによって、生活課題を 捉える視点が広がる

- ★本コースでは、学生の層が多岐にわたっており、年齢、職業、居住地など、広範囲にわたっている。交流を通じて、福祉の視点も多岐にわたる（60代、70代の資格取得者も多数！）
- ★学生間の交流が活発。また卒業生も多数なため、卒業後のネットワークも広い（他の資格を保持されている方も多いことで）

聖徳大学で学んでみませんか？